

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2015年4月30日】

団体名 東大和市レクリエーション協会

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

#### 1. プロジェクト名

ジュニアリーダー養成事業

#### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

東大和市では土曜日とか長期休業中に他市町にみられる「サタディスクール」とか、子ども会活動がほとんど成されていなくことに気づき驚きました。10年以上前には普通に行われていたそうです。私どもはレクリエーション活動を通じて誰もが参加でき、活力ある市民社会ができることを願う団体です。今回は直接子どもが子どもを支援できる人材としてジュニアリーダー養成事業を開催したいと考えました。

#### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

当初は中学生や高校生を募集して子どもに直接指導に当たるジュニアリーダーの養成を目指して4月、5月と募集したが集まらなかった。そこで地域の自治会や学校に協力を依頼して様々な行事に参加して頂くことでジュニアリーダー養成の必要性を市民に知って貰う活動とした。ちなみに東大和市全体でも子ども会は10年以上前に廃止しており今は存在していません。

当初予定したイベント(11月の高尾山自然クイズラリー大会、12月のクリスマス大会、3月の子どもと大人の遊び体験)に大人も子どもも募集をして参加して頂くことでジュニアリーダー養成の準備期間とした。

#### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

親の意識も子どもも、そして東大和市の雰囲気も定期的なジュニアリーダーの養成を望む状態ではなかった。しかしながらイベントへの参加は例年多いのでここを切り口にジュニアリーダーの養成に結びつけることにした。即ち高尾山クイズラリー大会や東大和クリスマス大会へ親子での参加を呼びかけ子どもだけでなく親にも協力を依頼しながら進めて行くことにした事です。

#### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回は東大和市の自治会の協力関係が成立したので次年度は更なる活動も期待できます。

ただしここで見てきたことは遊びの様々なイベントには参加するがそれを子どものサイトから担うという姿勢が市民の間にまったく根付いていないことである。

即ち親にとって子どもの遊びの前にそれぞれの家庭があり生活があるということです。また子どもにとって遊びのイベントはただ参加してただ得るもの(参加賞品とか)の確保だけで終わり、担うことの(例えばボランティア活動に寄与すること)大切さを自覚できるほど経済的にも精神的にもなっていないということです。従ってレク協会としては子ども達にもっと根本的な支援活動(無料学習塾等)の必要性を感じました。

#### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

# ジュニアリーダー養成事業の報告

(このリーダー養成では、真如苑「Shinjō」プロジェクト市民活動公募助成を受けて  
東大和市での様々なイベントに参加したり活動したりしたものです。)

11月の土曜日に高尾山クイズラリー大会、  
12月クリスマス開催  
3月には子どもと大人の遊び体験塾を開催した。

## プロジェクト内容① 高尾山自然クイズラリー大会



### 実施日

11月15日(土)

8時集合 16時30分散

### 会場

高尾山 一号路

### 主催

東大和市 レクリエーション協会

### 当日の参加者

子どもと保護者 95名

(内 ジュニアリーダーとしての参加者は  
18名でした)



### 実施概略・内容

高尾山を登りながらポイントの  
自然クイズを解答していく  
自然案内人は参加者とともに  
高尾山を登りポイント毎に  
テキストにある 課題の説明と  
問題解答を誘導する。



### スタッフ

#### 指導者

日本レクリエーション協会公認指導者  
高木住子、

自然案内人 8名

その他ボランティア 6名

## プロジェクト内容② クリスマス大会

12月24日(水) 東大和クリスマス会



18時～21時

東大和市の中央公民館で市内在住の  
レク受講者や一般市民を招待して  
東大和クリスマス会を開催しました。

最初にみんなでレクダンスをしました。  
だんだんと集まって  
延べ合計 35人の参加者でした。

### 参加条件

- ①百円以内のプレゼントを用意する
- ②プレゼントにはメッセージをつける
- ③お互いにレクを出し合う（各自用意しておくこと）
- ④食べ物、飲み物は持ち寄りの「持ち寄りパーティ」とする、として募集しました。

このクリスマス大会はレクリエーションの現場実習ということもあり

日本体育大学や、福祉の専門学校から10名の参加がありました。

レクリエーションゲームとして、人間知恵の輪、ジェスチャーゲーム

震源地ゲーム、手遊び、ハイハイイハ、自己紹介ゲーム、ナギガタの演舞、拍手ゲーム、新聞に乗って一周ゲーム等々と多彩なゲームが飛び出し、大いに楽しみました。

指導者は東京都レクリエーション協会公認講師の鈴木幸子先生

ジュニアリーダーの参加者は6名でした。

## プロジェクト内容③ 子どもと大人の遊び体験塾

3月8日(日)に東大和市中央公民館及び市役所の中庭を中心に「子どもと大人の遊び体験塾」を開催しました。参加者は約400名で一日中ニュースポーツや様々な遊びを楽しみました。

全体は東大和市レクリエーション協会の加盟団体がブースを出して実施しているものです。

ジュニアリーダーは「パルンアート」のブースを担当し来場した幼児をつれた保護者の方に喜ばれていました。



アフリカのゲームで「マンカラ」をやりました。  
保護者も参加しての親子対決であるとか  
子どもマンカラ名人も勝負していました。



昔遊びコーナーではお手玉とけん玉をしていました。  
あまり遊んだことのない子どもも多いようで  
大人の指導者が具体的に教えていました。  
これが手取り足取りの教え方の見本ですね。

いろんな遊びを体験できる一日となりました。



コップタワーです。  
慎重に慎重にコップを重ねていきます。  
自分の身長くらいまで、いやそれ以上も可能です。  
完成したらそこで記念写真を撮ります。  
その後、一気にコップタワーを崩します。  
正に創造と破壊を体験できる遊びです。



大型絵本の読み聞かせです。  
保護者も子どもも一緒になって  
物語の世界に慕っていました。



ジュニアリーダーのコーナーでは  
バルーンアート作りをしました。  
子ども達は自分も遊び、遊ばせる  
ことをお互いに体験しました。  
正に遊んで楽しみ  
遊ばせて楽しんだ一日でした。

各行事を通じてジュニアリーダーとして参加してく  
れた子どもは延べ64名でした。